



大阪安売りスーパー行脚

一刻も早く正常な市場回復を

加藤宏光

著者が臨床獣医師および養鶏のコンサルタントとして生産に関わって以来、四十数年になる。

養鶏を専門に診る獣医師の先駆者、故吉村省吾博士は、世の中にまだコンピューターが普及する以前に、採卵養鶏の経営診断に用いる試みをした。彼は数年の分析データを基に、著者にこう語った。

『コンピューターを使って分析した結果、採卵養鶏業はとにかくタマゴを沢山産ませれば儲かる、ということがわかった』

しかし、現在ではそれがすべてと言い切ることができない。

二〇〇五年、茨城でH5N2亜型LPAI(鳥インフルエンザ)の感染が発覚し、一度に五〇〇万羽以上の採卵鶏が淘汰された。その影響下での一時の高卵価を経た後、供給過剰に行き場を失ったタマゴが需給のバランスを崩して以来、売れないタマゴは作れば作るほど身を削って市場へ流さざるを得ない、というジレンマに苛まれるようになっていた。

【安売りの定義】

リーマンショックと供給過剰によって引き起こされている現在の混乱

した市場を分析するに当たって、本稿における安売りを「再生産が不可能な価格」と定義した。通常の原卵生産コストは、飼料、ひな償却、人件費に金利・償却費や諸雑費を加えたもので、飼料単価が鶏卵一キログラム当たり三六円程度の前提で、同一四七〜一五四円ほどになる(金利・償却や人件費でコストは一五〜二〇円ほど変動する)。

現時点でB級卵が八〜一三%出るため、このロスとして、コストはこの分高く見積もる必要がある(B級卵一%につき一円コストが高くなる)。さらにパックコストが鶏卵一キログラム当たり平均二八〜三二円、デリバリーコストに同一五〜二〇円を勘案すると、パック卵の生産コストは同二〇五〜二三〇円であり、一個当たり一三〜一五円で販売できればかろうじて再生産が可能となる。ここで間違えてはならないのは、生産者の手取りがこの金額でなければならぬ、ということ。流通マージンが二五%であった場合、スーパーでみるパック価格は一七〇〜二〇〇円でなければならぬ(個卵重を六三グラム弱すると一六個で一キログラムとなる)。

もちろん、金利・償却費を考える必要がないケースや人件費をオーナー取り分で賄えるような特殊なものでは、この売価を引き下げられることは言うまでもない。

【安売り構造】

安いタマゴの集客力は改めて、目を見張るほどのものである。

著者の親しい若手生産者は「安いタマゴは本当に客を集めるんです。でも、それはありがたいとばかりは言っていられない。集客戦略製品と



してタマゴが広く認知されてしまうと、市場は、タマゴは安いもの、即それでやって行ける(経営が継続できる)業界という刷り込みがなされるから……」と嘆いている。

安売り商品の成り立つ条件として次の四つが挙げられる。

- (1)スーパーが集客のため、自分の身を切って安くする場合
- (2)特定の安売り日に特売協力として、納入業者に安く納品させる
- (3)余剰卵を流す特殊な業者から手当てした仕入コストの特に安い商品を使用
- (4)以上の組み合わせ

【西高東低の卵価傾向と市場の実態】

ここ二〜三年の傾向として、全農の相場では、常に大阪相場が東京相場を上回っている。需給のバランスに立脚して相場が成立する」という原則に基づけば、恒常的に東京市場へ流れ込むタマゴの量が多い、という事実を物語るのである。

【驚くほどの流通構造を行脚して】

本年(二〇〇九年)八月十三日、ちよと盆にあたるこの日に、大阪市の周辺地域から低所得層の居住地域

を歩き回り、いわゆる安売りスーパーを視察して回った。短日で行脚したのは延べ二〇店舗に上った。歩いたエリアは、守口市、旭区、都島区城東区および西成区である。

大阪府下の安売りスーパーが何件あるかは調べていないが、エリア内外で、できるだけ同じ店(チェーン店、姉妹店を問わず)を探してタマゴを中心として銘柄、価格がどのように設定されているかを調査した。

特に注目したのは、一〇個パックで一〇〇円内外の値が付いている上に、一人当たりの購入パック数に制限のない製品がどれくらい出回っているか、である。また、比較対照として恒常的には安売りをしていない、全国へ店舗展開をしているスーパーマーケットの事情を確認した。

全国で飼養される採卵鶏は約一億五〇〇〇万羽、平均七〇%産卵率として毎日一億個以上が消費されることになる。その流通を担うシステムは、頭で理解してもなかなか体感できない。

今回、著者に長年協力している、T A社市場調査担当員のH氏の案内で、その一端を見聞し、巨大な流通機構に触れて、需給の実態に少しく

触れてみた。

その一例として、写真をご覧いただきたい。これらは、同一敷地に隣接するドラッグストアとローカルストアで撮影したものである。隣接しながら、いずれにもタマゴコーナーが設置され、しかもスーパー側では、パック卵が売り切れていたのである(ちなみに販売されていた箱玉価格は二二五〇円であった)。

このような立地条件でタマゴが販売され、双方成立していることは、ある意味驚愕である。

この二店舗における販売価格を後日、調査員が確認したところ、スーパーでの卵の価格は正規価格、Mサイズ一〇個パックで一五〇円(ピenk卵)、その消費期限残は十四日間(注1)であり、隣接ドラッグストアでは、正規価格は同一六八円(白卵)、消費期限残は八日間であった。両者の価格に大きな開きはなく、また、生活空間へ限なくタマゴの流通網が浸潤している現場に立つことで、家庭におけるテーブルエッグの必需性を垣間見た思いがする。

【安売りの実態】

まず、対照スーパーマーケットの

タマゴ売場事情である。

この店舗では、先着二〇〇名へのサービス価格として一九八円のブランド卵パックが用意されていた。決して安いものではない。それに対して、正規価格の商品では、二〇八〜二一八円のレギュラー卵、銘柄物では四個パックで二九八円の値が付けられていた。

安売りスーパードでは、どの店舗でも特売に供されていたのは、一三八〜一四八円の価格帯の商品であることが確認された。

調査目的としている一〇個パック当たり一〇〇円前後のものを販売していたのは巡回した二〇店舗のうち四店舗であった。しかし、単純に二〇％と判断するのは早計である。二〇店舗には同系列Tに属するものが五店、Gに属するもの三店があり、系統別にかウントすれば、一八店舗が対象となる。すなわち、安売りスーパードの三割弱で超安値タマゴが陳列されていたことになる。

これら安売りタマゴの陳列条件は、いづれも、必ずしも良好とは言えない。こうした超安値タマゴについて、それぞれ二〜三パックを購入し、著者の研究所で鮮度検定を実施した。

図1〜3にその結果を示した。

サンプルのタマゴでは、外観に大きな問題を確認できなかったが、ハウ・ユニットは低いものが多い。購入時点で確認した賞味期限までの日数は一〜二日であり、正規価格のそれが十一〜十三日間あった(店舗で目視確認)のに比較して明らかに短い。ちなみに、どの安売りスーパードにも陳列されていた一三〇〜一四〇円の商品では、期限残が五〜七日であった。

【西高東低の卵価は?】

今回の調査において、先に述べたように安売り店舗で一〇個パック一〇〇円前後の商品を見かけた。

しかし、この七年間、大阪地域でタマゴ・モニタリングを継続しているTA社の市場調査担当員、H氏の記録データによれば、昨年末〜本年七月までの購入サンプルは一パック一〇八円のもの一点あったのみで、サービス価格であっても同一三〇〜一四〇円の価格帯が多かった。

H氏は次のように語る。

『本年一月以来、巡回調査対象の店舗で一パック一〇〇円の商品を見つけたのは一度だけで、サンプルを購



入しサンプルとしてPPQC研究所へ送付した。近頃では、近畿地域で一三〇円程度のものを見つけた場合には、できるだけ購入して、送るようになっている。』

確かに、昨年十二月以来のサンプル価格を追跡してみた結果、安売り価格帯は一パック当たり一二八〜一四〇円で占められていた。

一方、関東一円から福島県の安売り価格帯では、一〇〇円未満のものが少なくない。中には八九円、六八円といった驚くべき値札が付けられている商品もある。こうして見ると、



* * * 検卵成績 * * *							
株式会社 P P Q C 福島県二本松市岳温泉大和125-7 PHONE 0243(24)2523				兵庫県 様			
農場: 検査日:090818 サンプルコード M		ロット: (賞味期限:090826) 鶏種		(検体#):0908-60		官能検査成績 卵白 卵黄	
				日齢 検査責任者:武藤 優香里			
検体#	個・卵重	卵・白高	ハウユニット	厚さ	卵殻強度	色度数	評価
1	58.30	3.720	56.12	0.310	3.52	11	B
2	60.10	4.120	59.72	0.300	2.75	10	B
3	57.90	4.920	68.69	0.270	2.31	13	A
4	57.00	4.670	66.80	0.320	4.23	12	A
5	60.50	5.030	68.55	0.320	3.99	12	A
6	59.50	4.520	64.38	0.300	2.91	12	A
7	56.40	4.020	60.58	0.330	3.60	12	A
8	59.10	4.410	63.28	0.270	2.12	12	A
9	59.10	4.710	66.22	0.310	4.18	12	A
10	57.90	4.820	68.69	0.330	3.07	12	A
11	58.50	4.700	66.40	0.260	2.27	12	A
12	55.70	5.120	71.36	0.290	2.93	11	A A
13	58.70	3.960	58.68	0.250	1.97	12	B
14	59.10	6.200	78.43	0.270	3.01	12	A A
15	60.10	4.740	66.05	0.290	2.76	12	A
16	55.60	4.540	66.28	0.320	3.20	12	A
17	59.80	3.910	57.51	0.300	3.11	12	B
18	59.20	3.710	55.48	0.270	2.77	12	B
19	55.20	2.780	45.54	0.340	3.68	12	B
20	60.10	4.450	63.20	0.320	3.70	12	A
21	56.40	4.780	68.09	0.340	3.25	11	A
22	59.00	4.500	64.23	0.350	3.04	12	A
23	60.20	5.080	69.12	0.260	2.05	12	A
24	58.50	3.580	55.50	0.280	2.98	11	B
25	59.70	4.020	58.82	0.320	3.74	11	B
26	60.10	3.540	52.82	0.330	3.42	12	B
27	60.20	3.390	50.78	0.350	3.68	11	B
28	56.40	3.710	57.11	0.280	2.40	12	B
29	58.90	4.220	61.41	0.320	3.45	12	A
30	58.20	4.460	65.18	0.320	3.11	13	A
平均	58.4g	4.3mm	62.5	0.30	3.1kg	12	

官能検査で空欄は正常

図1 大阪地域における安売り卵の品質例-1

西高東低の卵価傾向はまごうかたなき事実であろう。
調査に際して、たまたま少し話を聞くことのできたローカルストアの若い経営者は、「この安い価格設定

は盆の時期に絞り込んだキャンペーンで、通常週に一度の特売をこの期間(八月八〜十六日)に週三回実施する」と話してくれた。
もつとも、この期間、頻度を上げ

* * * 検卵成績 * * *							
株式会社 P P Q C 福島県二本松市岳温泉大和125-7 PHONE 0243(24)2523				兵庫県 様			
農場: 検査日:090818 サンプルコード M		ロット: (賞味期限:090818) 鶏種		(検体#):0908-53		官能検査成績 卵白 卵黄	
				日齢 検査責任者:武藤 優香里			
検体#	個・卵重	卵・白高	ハウユニット	厚さ	卵殻強度	色度数	評価
1	58.40	3.990	59.18	0.290	3.08	12	B
2	61.20	4.520	63.38	0.280	1.99	12	A
3	58.20	4.300	62.60	0.300	2.86	12	A
4	57.40	4.940	69.08	0.250	1.30	11	A
5	58.00	4.050	60.06	0.300	2.74	12	A
6	59.10	3.790	56.50	0.270	1.26	11	B
7	56.40	4.640	66.80	0.190	1.27	12	A
8	58.30	3.460	53.53	0.310	2.99	11	B
9	58.00	4.750	67.09	0.260	1.94	13	A
10	61.60	3.590	52.55	0.230	1.70	11	B
11	57.60	3.170	49.48	0.290	2.71	12	B
12	60.40	4.030	58.55	0.290	2.83	11	B
13	59.20	5.300	71.43	0.330	3.20	11	A A
14	60.40	4.190	60.32	0.320	1.82	11	A
15	61.90	4.340	61.18	0.320	2.56	11	A
16	61.00	3.950	57.31	0.290	2.65	12	B
17	59.50	3.940	58.02	0.210	1.07	11	B
18	58.50	4.310	62.56	0.300	2.81	12	A
19	57.80	4.610	65.87	0.260	1.92	11	A
20	61.70	4.970	67.49	0.290	2.91	11	A
21	56.50	3.170	50.23	0.290	2.11	12	B
22	58.00	4.110	60.71	0.290	2.66	12	A
23	59.90	3.660	54.46	0.310	2.61	13	B
24	58.60	4.720	66.54	0.300	2.76	12	A
25	60.70	4.490	63.32	0.320	2.87	12	A
26	58.70	3.870	57.66	0.210	1.51	12	B
27	59.20	3.090	47.23	0.330	3.95	13	B
28	61.70	3.790	55.01	0.340	3.17	12	B
29	59.20	3.960	58.41	0.290	2.90	12	B
30	59.20	4.100	59.97	0.320	2.15	12	B
平均	59.2g	4.1mm	59.9	0.29	2.4kg	12	

官能検査で空欄は正常

図2 大阪地域における安売り卵の品質例-2

た分、購買数が進むとは限らない、とのこと、消費者の心理にはまだまだ学ばねばならない点が多い。いずれにしても、「西高東低の卵価」という現象が起きていることは

間違いなく、何が要因として、こうした現象が起きたものか、一刻も早い真剣な検証が必要である。
【再生産のできる価格での販売】

* * * 検卵成績 * * *							
株式会社 P P Q C 福島県二本松市岳温泉大和125-7 PHONE 0243(24)2523				兵庫県 様			
農場: 検査日: 090818 サンプルコード MS		ロット: (賞味期限: 090821)		日齢 検査責任者: 武藤 優香里		(検体#): 0908-55	
検体#	個・卵重	卵・白高	ハウユニット	厚さ	卵殻強度	色産数	評価
1	58.30	3.480	53.16	0.310	2.62	12	B
2	59.40	4.830	67.21	0.330	3.45	12	A
3	55.60	5.220	72.24	0.320	2.86	12	AA
4	57.40	7.550	87.63	0.340	3.11	11	AA
5	58.10	3.610	54.91	0.350	3.71	12	B
6	56.00	3.980	60.37	0.310	2.82	11	A
7	54.40	4.750	68.72	0.350	3.11	13	A
8	58.30	5.850	76.15	0.380	4.05	12	AA
9	57.90	4.400	63.77	0.330	3.60	12	A
10	57.80	6.190	78.81	0.300	3.05	10	AA
11	56.80	6.440	80.88	0.330	2.63	11	AA
12	53.80	4.210	63.91	0.360	3.50	11	A
13	59.20	4.690	65.98	0.340	1.76	12	A
14	53.60	5.420	74.65	0.320	2.80	12	AA
15	52.10	4.050	63.18	0.340	4.08	11	A
16	56.60	5.590	74.80	0.370	3.31	12	AA
17	56.20	6.200	79.44	0.350	2.97	12	AA
18	52.90	3.830	60.44	0.340	2.91	12	A
19	57.70	4.570	65.53	0.310	3.12	12	A
20	49.30	5.070	73.67	0.320	2.19	12	AA
21	58.80	6.610	81.37	0.280	3.08	11	AA
22	55.90	4.750	68.04	0.300	2.43	12	A
23	57.10	3.660	56.11	0.310	2.03	11	B
24	57.00	5.130	70.90	0.250	1.72	11	AA
25	56.70	5.730	75.84	0.300	2.93	12	AA
26	58.50	4.790	67.24	0.360	3.79	10	A
27	55.40	4.740	68.18	0.330	3.02	12	A
28	54.30	5.120	71.95	0.330	3.70	11	AA
29	57.50	5.280	71.95	0.310	2.81	12	AA
30	57.20	5.520	74.02	0.330	3.18	12	AA
平均	56.3g	5.0mm	69.7	0.33	3.0kg	12	

官能検査成績
卵白 卵黄

官能検査で空欄は正常

図3 大阪地域における安売り卵の品質例-3

今回の調査で最も多かった特売価格帯は一〇個パック一三八円であり、これが通常の流通マージンを確保しているとするれば、納品価格は九〇円を切ることになる。この価格から逆算すれば、キロ当たりで一四五〜一五五円、パック卵の最低コスト(同一九〇円)と対比して、大きな赤字を覚悟しての納品と推察される。

もちろん、先に述べたように、流通自体がタマゴの集客性ゆえに自腹を切って特売しているケースも少なくない。しかし、再生産が不可能な価格で泣く泣く納品している生産者も少なくないと思われる。一刻も早く正常な市場が回復されることを切望するものである。

注1)この隣接するスーパーとドラッグストアは大阪府守口市に所在。陳列されている卵はいずれも南九州産であり(生産者は別)、そのうちの一点で賞味期限残が十四日間ということとは、この卵が産卵当日に店頭に並べられたことになる。表示価格が一五〇円であることを踏まえても、表示の正当性に疑いの目を向けたくなくなる。

注2)図1〜3のパック卵はM〜MSサイズで、ハウ・ユニット値(HU)が低いものでは五〇台も散見された。しかし、安売り卵のすべてが卵質不良ではなく、中にはHU平均値が八〇を超えるパック卵もあった。

(筆者:株)ピーピーキューシー研究所
代表取締役社長/農学博士・獣医師)